

**専齋** | **SENSAI**



五月晴れの目。空の透き通った青と新緑のコントラストが美しい。背景にそびえ立つのは長崎医療センター入院棟です。

**長崎医療センター座談会**

千燈照院 特別版

～長崎医療センターの今後のあり方～

**私の得意分野 ～医長紹介～**

- ・内視鏡下肝胆膵手術  
～きずが小さく患者さんの負担が少ないテレビカメラを用いた手術～
- ・大腸癌に対する集学的治療の動向

**最新医療紹介**

- ・長崎医療センター救急科  
専門研修プログラムについて

**TOPICS**

- ・新任紹介
- ・新任医師紹介
- ・熊本地震の活動報告
- ・職場紹介  
～治療検査センター放射線科～

・職場のホープ

- ～治療検査センター放射線科 看護師 江口明子～
- ・行事食紹介 ～こどもの日～

**連携医療機関の紹介**

- ・川本内科医院
- ・神田クリニック

**医療センター講演・研修・テレビ出演等**

**編集後記**

**長與 専齋** (1838年～1902年)

大村藩御殿医の家系に生まれる。緒方洪庵の適塾に学び、福澤諭吉の後を襲い塾頭となる。初代衛生局長として我が国の近代医療制度の確立に尽力した。衛生という言葉をはじめ採用したのも専齋である。専齋の生家は「宜雨宜晴亭」と呼ばれ、長崎医療センター敷地内に移築されている。

長崎医療センター

座談会 Vol. 11

# 千燈照院

特別編～長崎医療センターの今後のあり方～

平成28年度の病院運営について  
～急性期医療で地域に貢献する～

千燈照院とは…  
長崎医療センター千人の職員  
が力を合せて高度医療の実現  
にまい進する姿勢を表す言葉。



長崎医療センター院長

江崎 宏典

(えざき ひろのり)

平成24年より現職

平成28年度を迎え、本年度の運営方針等をお伝えしたいと思いますが、その前に今回の「熊本地震」により大きな被害が発生しました。被害に遭われた方々に心よりお見舞いを申し上げます。長崎医療センターでも災害対策本部を早期に立ち上げ、医療支援を実施してまいりました。職員の皆様には今回の災害対応にあたって多大なるご協力をいただき、ありがとうございました。

さて長崎医療センターの昨年度の診療実績と経営状況をまずお示します。新入院患者総数は前年度より450人以上も多い14,857人でした。平均在院日数は一般病棟で12.8日と初めて13日を切っております。経営面では新たに長期公経済負担や社会保険料の負担があり、厳しい決算結果が予想されていました。しかし新入院患者増加等による収益の増加、また経費削減などに努力いただいたこともあり、経常収支率は100%を達成することができました。これにより昨年度に掲げた病院の目標(取り組み)である“①診療密度を上げる②経常収支率100%を目指す”を、両方ともクリアすることが出来ました。職員の皆さんが一丸となって頑張っていたいただいた賜物です。この場を借りて感謝申し上げます。

年度	新入院患者総数	平均在院日数
平成27年度	14,857人	12.8日
平成26年度	14,399人	13.7日

本年度の病院運営、目標ですが、長崎医療センターは地域から信頼され、選ばれる拠点病院、そして医療を通じて地域に貢献できる病院となることを目指しています。本年は長崎県内では第一号となる「DPC医療機関群Ⅱ群」の認定を受け、さらに総合的かつ専門的な急性期医療の提供体制を評価する「総合入院体制加算1」の基準もクリアする

ことができました。これにより名実ともに高度医療、質の高い医療を提供する地域拠点病院として認められたものと思います。このような対外的な評価に応えることが出来るように、これまで以上に病院の機能、病院の力を高めていく必要があります。そのカギとなるのは急性期病院としての必要条件である7:1病棟を維持することにあります。4月からの診療報酬改定で一般病棟の7:1入院基本料の要件が大変厳しくなりました。そのため多くの病院で7:1病棟の維持が困難になると予想されています。しかし当院にとって7:1病棟は急性期病院としての生命線であり、必ず確保しておかねばなりません。それには新入院患者の確保(特に救急受入)と手術症例増加が特に重要です。同時に地域の医療機関との連携も同じく大切であり、中でも後方連携をより一層進めていく必要があります。そのため退院調整機能の向上に力を入れていきます。なお7:1病棟要件の取り組み状況は院内のイントラネットの右上に新入院患者数と並ん

で掲示致しますので、チェックをお願いします。

国立病院機構全体の取り組みとして本年度から「強靱化計画」がスタートします。これは病院運営と経営の強靱化をはかり、将来にわたって持続可能な組織であることを目指すものです。具体的にはそれぞれの病院は自院の現状と課題を整理し、5年後となる2020年の将来ビジョンに基づいた戦略を立案し、その実現に向けた対応を進めていくことが求められます。長崎医療センターは地域の拠点病院として、更なる診療機能の向上と経営の健全化を図って強靱な病院を目指していきます。

病院を支えるのは皆さん一人一人の力とそれを合わせたチームワークです。その力を十分発揮できるように、これまで以上に働きやすく、そして安全な病院環境を整備していきたいと思っています。皆で力を合わせて素晴らしい病院としていきましょう。

平成28年5月  
院長 江崎 宏典



私の得意分野～医長紹介～

内視鏡下肝胆膵手術  
～きずが小さく患者さんの負担が少ないテレビカメラを用いた手術～



外科医長 肝臓外科研究室長 黒木 保

自己紹介

本年度より着任しました外科の黒木です。前勤務先は長崎大学病院で 11 年勤務しておりました。趣味はランニングとガーデニング、そして実益を兼ねた弁当作りです。どうぞよろしくお願いいたします。

患者さんの負担を減らす手術

私の得意分野でまず挙げたいのは内視鏡下肝胆膵手術です。肝胆膵手術は高難度手術であり、大きな侵襲を伴い、患者さんに大きな負担をかけてきました。患者さんの負担を減らし、かつ、きずを小さくすることで美容的にも優れた手術を目指す取り組みを続けてきました。2006 年に内視鏡外科技術認定医を取得後、消化器領域、特に肝胆膵の内視鏡手術に力を入れております。肝胆膵手術の中でも特に侵襲の高い手術の一つである膵頭十二指腸切除術に 2010 年より内視鏡手術を導入し症例を重ねてきました。また、胆嚢結石、総胆管結石、胆道系早期癌などの胆道系手術においても内視鏡手術を第一選択としてきました。さらなる低侵襲化を目指し単孔式手術もいち早く取り入れております。単孔式手術は臍のきずのみで手術を行う内視鏡手術で美的にはもちろんのこと、術後の創痛が軽度で早期の社会復帰が可能と考えております。症例を厳選して、この単孔式手術で膵尾側切除術も行ってきました (図 1, 2, 3)。

今後の展望

内視鏡手術を安全に行うには開腹手術の経験と知識が必須であります。私はこれまで広範囲肝切除術、血管合併切除を伴う膵頭十二指腸切除術 (図 4) などの高難度手術を含め肝胆膵手術を約 1500 例以上経験しており、2010 年より肝胆膵高度技能指導医として後進の指導にもあたってきました。



図4:胆嚢癌に対する肝切除術+膵頭十二指腸切除術

手術は一人ではできません。後進を育て、内科の先生方はじめ多くのスタッフの方々と協力し、チーム“医療センター”として治療にあたりたいと思います。「小さい病変だけど、経過観察していていいかな ---」「病変が大きく血管に浸潤して、とても切除できない ----」など、肝胆膵の疾患について悩まれるケースも多いと思います。どのような症例に対しても対応いたしますので、是非、ご紹介ください。



図1:単孔式腹腔鏡下膵尾部切除術の術中の様子  
臍の創のみで膵尾側切除術を行う。

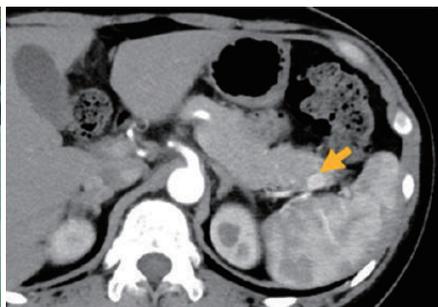


図2:単孔式腹腔鏡下膵尾部切除術  
膵尾部に局限した膵低悪性度病変が手術対象となる。  
症例は 45 歳女性、膵尾部インスリノーマ。



図3:術後創部の所見  
臍の創のみで手術を行うので、創部がほとんど目立たず審美的にも優れている。また、術後創痛もほとんどない。

私の得意分野～医長紹介～

## 大腸癌に対する集学的治療の動向

外科医長 竹下 浩明



2016年4月より外科医長を拝命いたしました。大学病院在任中の専門は大腸外科で、大腸癌に関しては、集学的治療により治癒度の高い治療を提供してまいりました。手術に関しては、腹腔鏡下手術も行い、日本内視鏡外科学会技術認定医(大腸)を取得しております。また、クローン病や潰瘍性大腸炎に対する外科的治療を担当してまいりました。今回、得意分野について御紹介させていただける機会をいただきましたので、大腸癌に対する集学的治療の動向について触れさせていただきます。

### ●StageⅣ大腸癌に対する集学的治療

切除不能大腸癌においては、2005年にエルプラットが承認され、現在では、FOLFOX療法、FOLFIRI療法が標準治療として行われるようになってきました。併用する分子標的薬は抗VEGF抗体であるBevacizumab、抗EGFR抗体である、Cetuximab、Panitumumabがあります。大腸癌の遠隔転移で最も多い肝転移に対しては、日本の大腸癌治療ガイドラインでは、切除可能なら切除となっていますが、ヨーロッパのガイドラインでは、EORTC-40983(EPOC)試験で、周術期FOLFOX療法が適格例において無増悪生存期間(PFS)を延長した結果から、切除可能肝転移に対してもFOLFOX療法の周術期化学療法を推奨しています。抗EGFR抗体薬は腫瘍を縮小させるパワーがあり、FOLFOX療法に抗EGFR抗体薬(Cetuximab)を上乗せした臨床試験(new EPOC試験)も行われましたが、周術期FOLFOX療法に比べて、逆にPFSが短縮したため、試験は早期中止となった経緯があります。通常、FOLFOX療法単独よりもFOLFOX+Cetuximab療法の方が腫瘍縮小効果は強いわけですが、なぜか、術後の再発が増加していました。様々な原因が考えられましたが、究明には至っていません。Cetuximabについては、術後補助化学療法において、FOLFOXに上乗せした臨床試験(N0147試験)でもPFSが悪化していました。原因は不明なもの、私

見としては、Cetuximab投与によりアポトーシスが誘導される実験結果があることから、cell cycleが停止し、S期を通過しないことによりFOLFOX療法の効果が減弱し、G1 arrestした癌細胞が化学療法の中止により増殖を再開するのではないかと考えています。切除可能な大腸癌肝転移に対するFOLFOX療法による周術期化学療法については否定的な意見もあるものの、米国のガイドライン(NCCN)でも選択の一つとして取り上げられており、世界的な動向となっています。

### ●直腸癌に対する集学的治療

日本の大腸癌治療ガイドラインでは、切除可能な直腸癌に対しては切除を行い、妥当な症例には術後補助化学療法を行うことになっています。欧米では、進行直腸癌に対しては、術前放射線化学療法後に外科的切除が標準治療となっています。しかし、術前補助放射線化学療法では、術後の遠隔再発を抑制できないことと照射部の晩期合併症や排便機能を悪化させる懸念があります。最近の動向としては、局所高度進行直腸癌に対して、周術期全身化学療法を行い、腫瘍縮小効果による肛門温存率の上昇、遠隔転移含めた再発を抑制する試みがなされてきています。ただし、全身化学療法では、放射線治療ほどの腫瘍縮小効果が得られない場合もあることから、術前放射線化学療法+周術期化学療法も試みられており、結腸癌に比べて予後不良な直腸癌にしても再発を抑制するチャレンジがなされているのが現状です。

現在、大腸癌の治療においては、外科的治療のみでは限界を迎えており、徹底的な郭清や拡大手術を行っても、術後再発を抑制できるわけではありません。今後、患者さんの予後を改善するのは、マルチモダリティによる集学的治療戦略と考えます。

最新医療紹介

# 長崎医療センター救急科専門研修プログラムについて



救命救急センター長 中道 親昭

## ①救急科専門研修プログラムの目的

本研修プログラムの目的は、acute care physicianを育成することです。

Acute care physicianとは、『病気、けが、やけどや中毒などによる急病の方を診療科に関係なく診療し、特に重症な場合には救命救急処置、集中治療を行うことを専門とし病気やけがの種類、治療の経過に応じて、適切な診療科と連携して診療に当たり、救急医療の知識と技能を生かし、救急医療制度、メディカルコントロール体制や災害医療に指導的立場を発揮する』と定義されています。

## ②専門研修の目標

- 1) 様々な傷病、緊急度の救急患者に、適切な初期診療を行える。
- 2) 複数患者の初期診療に同時に対応でき、優先度を判断できる。
- 3) 重症患者への集中治療が行える。
- 4) 他の診療科や医療職種と連携・協力し良好なコミュニケーションのもとで診療を進めることができる。
- 5) 必要に応じて病院前診療を行える。
- 6) 病院前救護のメディカルコントロールが行える。
- 7) 災害医療において指導的立場を発揮できる。
- 8) 救急診療に関する教育指導が行える。
- 9) 救急診療の科学的評価や検証が行える。
- 10) プロフェッショナリズムに基づき最新の標準的知識や技能を継続して修得し能力を維持できる。
- 11) 救急患者の受け入れや診療に際して倫理的配慮を行える。
- 12) 救急患者や救急診療に従事する医療者の安全を確保できる。

## ③研修プログラムの実際

本プログラムでは、救急科領域研修カリキュラムに沿って、経験すべき疾患、病態、検査・診療手順、手術、手技を経験するため、基幹研修施設である長崎医療センターと連携研修施設である長崎大学病院・地域医療研修施設である佐世保市立総合医療センター(旧佐世保市立総合病院)、長崎みなとメディカルセンター市民病院、長崎県対馬病院、長崎県上五島病院での研修を組み合わせています。

- ・募集人員：2名/年。
- ・研修期間：3年間。

## ○基幹研修施設である長崎医療センター救急科(基幹研修施設)週間スケジュール

時間	月	火	水	木	金	土	日
8	救命センター ミーティング・引き継ぎ						
9	救急診療 救命センター診療			脳神経 カンファ	救急診療 救命センター診療		
10							
11	救命センター カンファランス			救命 センター カンファ	救命センター カンファランス		
12							
13							
14	救急診療 救命センター診療		救急診療 救命セン ター診療	救急診療 救命センター診療			
15							
16							
17	リハビリカンファ						
	救命センター 申し送り						

## ○研修プログラム

研修領域ごとの研修期間は、救急診療(クリティカルケア含む)18か月間、救急・外傷センター診療 6か月間、本土または離島などの地域での救急診療 6か月間以上としています。

A,Bコースともに4パターンあり、いずれかのコースを選択していただきます。

長崎医療センター 救急科専攻医研修計画

	1年目		2年目		3年目	
	基幹施設	基幹施設	基幹施設	長崎大学病院	地域(本土)	基幹施設
A-1/パターン	救急診療 クリティカルケア	救急診療 クリティカルケア	救急診療 クリティカルケア	救急診療 外傷センター ドクターカー	地域医療 外来診療	救急診療 クリティカルケア ドクターヘリ
A-2/パターン	救急診療 クリティカルケア	救急診療 クリティカルケア	救急診療 クリティカルケア	救急診療 外傷センター ドクターカー	地域医療 外来診療	救急診療 クリティカルケア ドクターヘリ
A-3/パターン	救急診療 クリティカルケア	救急診療 クリティカルケア	救急診療 クリティカルケア ドクターヘリ	救急診療 外傷センター ドクターカー	地域医療 地域医療	救急診療 クリティカルケア ドクターヘリ
A-4/パターン	救急診療 クリティカルケア	救急診療 クリティカルケア	救急診療 クリティカルケア ドクターヘリ	救急診療 外傷センター ドクターカー	地域医療 地域医療 外来診療	救急診療 クリティカルケア ドクターヘリ

	1年目		2年目		3年目	
	基幹施設	長崎大学病院	長崎大学病院	基幹施設	基幹施設	地域(本土)
A-1/パターン	救急診療 クリティカルケア	救急診療 外傷センター ドクターカー	救急診療 外傷センター ドクターカー	救急診療 クリティカルケア ドクターヘリ	救急診療 クリティカルケア ドクターヘリ	地域医療 外来診療
A-2/パターン	救急診療 クリティカルケア	救急診療 外傷センター ドクターカー	救急診療 外傷センター ドクターカー	救急診療 クリティカルケア ドクターヘリ	救急診療 クリティカルケア ドクターヘリ	地域医療 外来診療
A-3/パターン	救急診療 クリティカルケア	救急診療 外傷センター ドクターカー	救急診療 外傷センター ドクターカー	救急診療 クリティカルケア ドクターヘリ	救急診療 クリティカルケア ドクターヘリ	地域医療 地域医療 外来診療
A-4/パターン	救急診療 クリティカルケア	救急診療 外傷センター ドクターカー	救急診療 外傷センター ドクターカー	救急診療 クリティカルケア ドクターヘリ	救急診療 クリティカルケア ドクターヘリ	地域医療 地域医療 外来診療

これまで我々が指導してきた内容が、日本救急医学会及び日本専門医機構で認められたプログラムとなり、当院救命救急センターの診療方針、指導内容に大きな変化はありません。

acute care physicianが、救急科専門医としての地位を確立したことは、大きな前進と考えます。

## TOPICS

## 新任紹介



事務部長  
**米田 國治**

北九州市黒崎から大村の地に赴任してまいりました。今回が11回目の転勤となります。初めての長崎勤務です。これから、一つでも多く当院に貢献できるよう努力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。赴任早々、大村公園の桜が見事でした。次の菖蒲も楽しみにしています。



経営企画室長  
**合戸 有介**

4月1日よりお世話になっております経営企画室長の合戸と申します。大村の地では、国立長崎中央病院時代に2年半勤務させていただき、今回が二度目の勤務となります。前回勤務したときと比較して、病院は大きく綺麗になり、機能も充実し、大村市内も違う街のように変わっていて驚きと戸惑いの日々を過ごしていますが、1日も早く長崎医療センターの一員として認めて頂けるよう精進してまいりますので今後とも宜しくお願いいたします。



業務班長  
**上築 和彦**

平成28年4月から業務班長として勤務することになりました。長崎医療センターは新病院が完成した15年前に見学に来たことがあり綺麗で立派な病院との印象がありました。長崎医療センターの一員として頑張りますのでよろしくお願いいたします。



契約係長  
**奥本 道仁**

この度、熊本再春荘病院より配置換となりました、事務部企画課契約係長の奥本道仁と申します。長崎での勤務は初めてとなりますが、微力ながら病院運営に貢献できるように一生懸命がんばりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



算定病歴係長  
**谷口 哲也**

4月1日付で大分医療センターより参りました算定・病歴係長の谷口と申します。宮崎県出身で、長崎県では初めての勤務となります。これまで会計業務を担当することが多く、久しぶりに医事業務に携わることとなりました。勉強不足な面もあり、ご迷惑をおかけすることもあるかとは思いますが、何卒よろしくお願いいたします。



職員係長  
**国広 直之**

この度嬉野医療センターより管理課職員係長に配置換となりました国広(くにひろ)と申します。管理課業務を務めるのは入職以来初めてであり、日々積み上がり続ける書類を食い止めようと必死に頑張っているところです。まずは自分の業務を「円滑に」回せるように務めていきますので、皆様生暖かい目で見守っていただければと思います。よろしくお願いいたします。



副診療放射線技師長  
**二保 忠紀**

4月より大牟田病院より赴任してまいりました。今回で5施設目になり、当院のような高度総合診療医療を行う施設に勤務するのは久しぶりです。また、大分・大牟田・大村(長崎)と「大」の付く地名に縁があるのではないかと考えています。先生方やスタッフの方々にご迷惑お掛けすることがあると思いますが、早く長崎医療センターの一員になれるように頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



副臨床検査技師長  
**鬼塚 聖子**

嬉野医療センターよりまいりました、副臨床検査技師長の鬼塚聖子です。出身は宮崎ですが、暑さも寒さも大丈夫、元気が取柄です。「何があっても大丈夫!」の精神で、毎日、笑顔を絶やさず仕事に励んでいます。皆様にご迷惑をかけないように顔晴りますのでよろしくお願いいたします。



看護師長  
**酒谷 紀子**

長崎川棚医療センターより3B病棟師長として就任しました酒谷です。今回6年ぶりに当院で働かせていただきます。周りの変化についていくのがやっとの日々ですが、職員の皆様のお役に立てられるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。



看護師長  
**吉浦 真由美**

長崎病院から参りました、看護師長の吉浦真由美です。精神・リエゾンセンターに配属となりました。長崎病院では神経難病や重症心身障がい児(者)の看護に携わっていました。精神科は初めてで戸惑うことも多いですが精一杯務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

## 新任医師紹介



1年次研修医  
案浦 花奈子

案浦花奈子と申します。福岡県出身、九州大学卒でバレーボール部に所属しておりました。旅行が好きで、大学時代は休みの度に海外旅行に出かけ、異文化に触れる機会を多く得ました。長崎に住むのは初めてで、右も左もわからない状況ですが、新しい地で心機一転頑張ります。二年間で多くを学び成長したいです。また、レクリエーション係に任命されましたので、イベントの際は皆様にお世話になると思います。よろしく願いいたします。



1年次研修医  
岡本 渉大

こんにちは。自治医科大学39期卒業の岡本渉大です。島原半島にある深江町で育ち、島原高校出身です。お酒が好きなので飲み会がとても楽しみです。私は手術に興味があるので、将来は外科系の診療科に進みたいと考えています。わからないことも多く、多々ご迷惑をお掛けすることもあると思いますが、自分から積極的に動いて失敗しながらも成長していきたいと思っています。どうかよろしく願い致します。

## TOPICS

### 熊本地震の活動報告

救命救急センター 増田 幸子

#### 熊本震災におけるDMAT活動報告

今回熊本震災においてDMATとして活動しましたのでご報告申し上げます。4月14日午後9時26分に熊本にて地震発生あり、DMAT出動準備開始し午後11時30分に出動準備完了、4月15日午前2時に医師2名、看護師2名、事務調整員1名の計5人で当院DMAT第1隊として出発しました。病院救急車にて移動し15日午前5時に熊本赤十字病院に到着しました。到着後は活動拠点本部の熊本赤十字病院DMATの指揮の元、希望が丘病院の病院避難支援として患者2名を東稜高校へ搬送しました。次に16日の益城町役場での統括診療業務を指示され益城町役場に移動したところ、16日深夜に本震が発生しました。余震が続く中で現地の消防や警察、自衛隊と協力し現場救護所を再び設置し、16日午前1時から午前7時までの間に合計トリアージ赤0名、黄5名、緑6名、黒1名の対応を行いました。

過酷な状況の中での活動でしたが優秀な仲間恵まれ現場の方々とも良好なコミュニケーションを取りながら活動する事ができました。お忙しい中長崎から活動を補助して下さいましたスタッフの皆様、誠に有難うございました。



総合診療科 大野 直義

#### 熊本震災における医療救護班活動報告

熊本地震発災後の4月20日、熊本県知事から救護班派遣の要請があり、救護班6名は陸路で熊本県にむかいました。途中熊本市内に近づくにつれ建物、道路が損壊している現場を目の当たりにし、被災された方々がこの環境の中で避難生活をされていることを考えると、任務の重大さを身にしみて感じました。4月20日は、国立病院機構の現地対策本部となっている熊本医療センターで現状報告を受け、翌日からの活動に備えました。4月21日以降は、熊本県救護班調整本部の指示で、被害の大きかった益城町の南側に位置する御船町で避難所を回り、生活環境評価、診療を行いました。避難所では、多忙な中で救護班活動に協力をしていただき、我々が行くことで何かできたわけではありませんが、『来てくれてありがとう』と声をかけていただきました。幸い急病の方はおられませんでした。今後しばらく続く避難所での生活は、いろいろな面で過酷だろうと思いました。被災された方々が1日でも早く普段の生活に戻れることを祈りながら、4月23日夕方に活動を終え長崎に戻りました。



## TOPICS

## 職場紹介 ～治療検査センター放射線科～

治療検査センター 副看護師長 伊東 ますみ

私たち放射線科は、看護師長、副看護師長、看護師8名で、放射線科医師・診療放射線技師・事務助手と協力して看護業務をしています。主な看護業務はCT、MRI、PET-CT、カテーテル検査・放射線治療、胃透視・注腸検査の検査介助です。

CT室では1日80～100件の検査が安全に進むよう奮闘しています。MRI室でも1日30～40件の検査前にチェック!チェック!事故のないように目を光らせ、診療放射線技師とダブルチェックをしています。心臓カテーテル・治療検査介助では重いプロテクターで術衣の中はものすごい汗です。また、夜間・時間外のカテーテル治療検査介助もを行っています。放射線治療室では、症状や治療による有害

事象だけでなく、心理面にも寄り添った看護を行っています。

検査や治療の結果は、患者さんにとってその後の生活を大きく左右する緊張の時間であり、その時間を少しでも安全に提供できるように、チーム一丸となって対応しています。



## TOPICS

## 職場のホープ ～治療検査センター放射線科 看護師 江口明子～

治療検査センター 看護師長 松山 かおり

皆さん、こんにちは。治療検査センターの放射線科部門配属の江口明子さんを紹介します。彼女は、治療検査センターに配属後、5年目の看護師で、2人のお子さんの育児と日々奮闘されています。主に、放射線治療室、MRI室、PET/CT室などの検査介助・看護を行っています。現在はアンギオ・心カテ室の業務も担当し、業務終了後には、図書室等で学習するなど人一倍勉強熱心です。また彼女の学習ノートは、几帳面に書かれているので、他の看護師の教育にも生かせる程です。

昨年度は看護業務委員として看護基準・手順の改定や重症度、医療・看護必要度の知識向上に取り組みました。

重症度、医療・看護必要度は、病棟配置換えの場合を考え、テスト形式で看護師教育を行いました。今年度は、がん診療リクナースとして放射線検査・治療等を受ける患者の看護の質向上を目指し、頑張ってくれることを期待しています。



## TOPICS

## 行事食紹介 ～こどもの日～

栄養管理室 中村 まりえ

5月5日こどもの日に行事食を提供しました。こどもの日は子どもの健やかな成長を願い、また両親など育ててくれた人に感謝する日とされています。

患者さんに喜んでもらえるよう、栄養士・調理師・調理スタッフで話し合いを重ね、日常食(一般食)では、旬のグリーンピースを使用したピース御飯、すずきのフライ、酢味噌かけ、かき卵汁、甘夏柑ゼリーを提供しました。今年度より、学童、幼児食では、より嗜好に合うようにと主食をチキンライスに変更して提供しています。暖かくなってきた日にさっぱり食べて頂けたらと取り入れたゼリーは調理師の手作りです。提供後も行事食カードを保存している方をお見受けし、喜んで頂けたのかなと大変

嬉しく思いました。

今後も患者さんのご意見や喫食量調査を反映し、病院のお食事を少しでも喜んで頂けるよう、栄養管理室一同取り組んでまいります



連携医療機関の紹介

●川本内科医院 院長 川本 幹夫

私は、昭和41年長大卒です。学生時代、60年安保闘争を経験し、またインターン廃止運動を積極的に行った年代です。これらの行動は、以後の医学教育の改革に一石を投じたものと自負しております。昨年、当時出版された名著『新しい医学への道』（高橋暁正著）を再読してみました。挙げられていた課題のなかで現在、無給の研修は解消している。病院と診療所の機能分化、連携は進展している。しかしながら今も、製薬企業と医学者との癒着は続いています。日本医師会がその会員に、安心して診療を実践できるよう正確な情報を提供しているだろうか。例えば、ジェネリックの薬効・品質評価を日本医師会が行ってくれたらありがたいのですが――

当診療所の役割は、▽コモンディーズの治療、▽メタボ健診を積極的に行い、成人病の一次予防につなげること、▽内科的ガン検診によって早期発見につとめること、▽在宅診療と看取ること。現在100歳をこえた人が3名おられま

す。私自身が、後期高齢者の仲間入りをしましたので、どこまで積極的にやれるかわかりませんが、努力を続けます。早期紹介をモットーにしています。これからも医療センターの方々には、大変お世話になることと思いますが、よろしく願います。



〒856-0835 大村市久原2丁目899-1  
電話:0957-54-5675 FAX:0957-54-5676

●神田クリニック 院長 神田 和亮

長崎医療センターから徒歩5分の木場にある神田クリニックです。平成18年に地元大村に開業し、十年になります。診療内容は、検診、胃カメラやエコーなどの検査、高血圧、糖尿病、高脂血症、消化器疾患などの内科、腰痛や肩、膝の痛みの治療、外傷や巻き爪などの外科、漢方診療も行っております。

最近の漢方の話題について少し述べたいと思います。今、アクアポリンと腸内細菌が注目されています。アクアポリンとは、水チャンネルのことで、皮膚の保湿、消化管の水分調整や浮腫などに関連しています。漢方薬がアクアポリンを調節し、五苓散が嘔吐や下痢に、黄耆建中湯が乾燥肌などの治療に用いられます。またヒトの細胞が60兆個に対して、腸内細菌は100兆個あるといわれており、アレルギー、肥満、便秘などにも関連しています。漢方薬の治療で腸内細菌がよい細菌叢に変化することによって便秘が改善すると考えられています。一定期間の治療後、内服しなくても便秘が解消される方も多くおられます。患者さんには、自分で漢方を服用すると同時に腸内細菌にもえさをあげ

るつもりで内服してくださいと説明しています。医療センターの先生方には大変お世話になっています。今後ともよろしくお願い申し上げます。



〒856-0031 大村市木場1丁目947-3  
電話:0957-48-5648 FAX:0957-48-5647

## 医療センター講演・研修・テレビ出演等(6月)

## 生涯教育講座

開催日	時間	開催場所	内容	講師
6月15日(水)	19:00~20:00	地域医療研修センター	医療制度について、今と今後	キャンニングローバル戦略研究所:松山幸弘先生

## NST勉強会

開催日	時間	開催場所	内容	講師
6月20日(月)	18:00~	あかしやホール	経腸栄養の基礎 静脈栄養の基礎	管理栄養士:中村まりえ 薬剤師:下澤那津

## CPC

開催日	時間	開催場所	内容	講師
6月28日(火)	18:30~19:30	あかしやホール	70歳男性 肺異常陰影	臨床担当:末永知康先生、野口美帆先生、中村俊介先生 春田真一先生 病理指導:伊東正博先生

## 臨床研究実践セミナー

開催日	時間	開催場所	内容	講師
6月29日(水)	19:00~20:00	臨床研究センター大会議室	外科的研究のすゝめ	肝臓外科研究室長:黒木保先生

## 第2回がん化学療法セミナー

開催日	時間	開催場所	内容	講師
6月30日(木)	18:00~19:30	あかしやホール	がん化学療法の基礎2(制吐療法)	薬剤師:糸永昇平 がん化学療法看護認定看護師:村上摩利

## KTN ヨジマル出演

開催日	内容	講師
6月27日(月)	総合診療科領域	総合診療科医長:和泉泰衛先生

これらの講演は、地域の医療従事者の皆様に開放しています。詳細は病院のホームページをご参照下さい。 <http://www.nagasaki-mc.jp/pages/205/>

## ●編集後記

臨床研究センター難治性疾患研究部長 小森 敦正

## 病院で、人が人として出会うこと

病院で、人が人として出会い、励まし合うことの不思議。IT化も進んだ地域中核病院の廊下で、再来患者さんと挨拶をかわしながら、ふとそんなことを考える。

医者になり、患者さんに教えられる。患者である僕は、大部屋で患者さんとベッドを並べ、明日を待つ。生老病死の定めがあるから、そこで出会ったのだろうか。

研修医2年目、膠原病による慢性多臓器障害により、全身衰弱著明な女性がいた。亡くなる1-2週間前だったのだろうか、僕は中心静脈穿刺を試みていた。10分—20分?経っても成功できず、上級医にお願いしようやくラインは確保できたものの、固定を終えて滅菌ドレープを取ったばかりの、すまなさでいっぱいだった僕の手を強く握って、”次は頑張るね”と、からからになった喉から、しぼりだすような声で励ましてくれた患者さん。

医学部5年次の夏休み、縦隔腫瘍摘出目的で母校の外科病棟に入院した際に、隣のベッドにいた彼。1つ年上だった

けれど、社会人で小さなお子さんもいて、少しうらやましかった。偶然にも500 km以上も離れた僕の実家の、隣家の甥御さんでもあった。二人とも主治医は同じで、僕は幸いに良性だったけれども、上大静脈症候群があった彼は、後に僕が入局することになる内科に転科した。秋の夕暮れ時、授業が終わった後にお見舞いに行き、リンパ腫であろうことは想像できていた僕は、何を話し、何か励ませたのだろうか。彼が亡くなったことは、入局後先輩から伝え聞いた。

病院では患者さんと励まし合って、共同作業をしているように感じる。患者さん同士も、病室で、外来で、同じ空気の中で気遣っているのだと思う。そこでお互いが出会ったことは不思議で、その時間を共有し、共感し合えたことを、いとおしく感じる。一方的な、振り返りなのかもしれない、苦い関係も無くはない、無力さを感じることも多いから。

それでもその一期一会が、医療者/患者という関係性を越えて、病院を、私たちの人生を、豊かにしてくれるものと信じている。個人的に、あくまで個人的に。

# 外来診療担当医一覧表

(★は新患対応)平成28年6月1日～

		月	火	水	木	金	
総合診療科	第1新患	★ 辻 徹 ★ 大野 直義	★ 荒木 利卓 ★ 川原 知瑛子	★ 森 隆浩 森 英毅	★ 森 英毅 森 隆浩	★ 川口 勝輝 ★ 和泉 泰衛	
	第2新患		和泉 泰衛	荒木 利卓		大野 直義	
	内科 専門外来	肝臓 (消化器)	★ 内田 信二郎 ★ 戸次 鎮宗 ★ 長岡 進矢 ★ 阿比留 正剛	★ 佐伯 哲 ★ 戸次 鎮宗 ★ 内田 信二郎	★ 八橋 弘 ★ 小森 敦正 ★ 山崎 一美	山崎 一美 ★ 長岡 進矢 ★ 小森 敦正 ★ 橋元 悟	★ 阿比留 正剛 ★ 橋元 悟
			消化管	西山 仁	★ 後藤 高介 福田 浩子	西山 仁	
		内分泌・代謝	明島 淳也	藤田 成裕(糖尿病) ★ 池岡 俊幸	藤田 成裕	池岡 俊幸(再来のみ)	
		腎臓	★ 辻 清和		川崎 智子 ★ 山下 鮎子	山下 鮎子 ★ 川崎 智子	辻 清和 ★ 川崎 智子
		循環器	於久 幸治	春田 真一	★ 田中 規昭	松尾 崇史	深江 貴芸
		呼吸器	★ 岩永 直樹 土井 誠志	★ 永吉 洋介	長島 聖二 ★ 土井 誠志	★ 久富 恵子	★ 長島 聖二 ★ 久富 恵子
		血液	★ 中島 潤 北之園 英明	★ 牧山 純也	★ 吉田 真一郎	牧山 純也 中島 潤	★ 吉田 真一郎
		神経		岩永 洋	鳥 智秋(午前は再来のみ)		岩永 洋
		リウマチ・膠原病	右田 清志		岩永 希	岩永 希	
		循環器			於久 幸治(再来のみ)		
	午後	神経	山田 寛子				
	血液					★ 北之園 英明	
	小児科	午前	★ 田中 茂樹(神経) ★ 橋本 和彦(新生児・乳児) ★ 桑原 義典(一般) ★ 本田 涼子(一般・神経)	★ 安 忠輝(一般) ★ 瀧口 陽(新生児・乳児) ★ 内田 信宏(一般)	★ 内田 信宏(一般) ★ 和泉 啓(内分泌) 本田 涼子(再来のみ) ★ 青木 幹弘(新生児・乳児)	★ 桑原 義典(一般) ★ 庄司 寛章(一般)	★ 田中 茂樹(神経) 本村 秀樹(心臓・再来のみ) ★ 青木 幹弘(一般) ★ 安 忠輝(一般)
午後		本村 秀樹 桑原 義典(心エコー)	田中 茂樹(神経) ★ 本村 秀樹(心臓)	一ヶ月健診	青木 幹弘 橋本 和彦 瀧口 陽 庄司 寛章 土居 美智子		
精神科	★ 橋口 知幸 蓬萊 彰士(午前のみ)	★ 橋口 知幸 蓬萊 彰士 田中 大三	★ 蓬萊 彰士 橋口 知幸	★ 蓬萊 彰士 橋口 知幸 田中 大三	★ 田中 大三 橋口 知幸		
皮膚科	★ 石川 博士	★ 大久保 滯	★ 石川 博士	★ 大久保 滯	★ 石川 博士		
外科	★ 黒木 保(肝・胆・膵・消化器) ★ 徳永 隆幸(小児) ★ 北里 周(肝・胆・膵・消化器)	★ 前田 茂人(乳腺・甲状腺) ★ 渡海 大隆(消化管) ★ 森田 道(乳腺・甲状腺)	★ 藤岡 ひかる(肝・胆・膵・消化器)	★ 前田 茂人(乳腺・甲状腺) ★ 谷口 堅(食道・胃・大腸) ★ 森田 道(乳腺・甲状腺) 永田 康浩(食道・胃・大腸)	★ 竹下 浩明(胃・大腸) ★ 久芳 さやか(乳腺・甲状腺) 宇賀 達也(乳腺・甲状腺)(午後のみ)		
	呼吸器外科		★ 田川 努 ★ 持永 浩史				
心臓血管外科	午前		★ 有吉 毅子男 ★ 尾立 朋大	濱脇 正好(再来のみ)	★ 濱脇 正好(小児心臓外科) ★ 有吉 毅子男 ★ 尾立 朋大 ★ 小野 智恵 ★ 佐藤 慧		
脳神経外科	★ 戸田 啓介 ★ 牛島 隆二郎	★ 堤 圭介	★ 日宇 健		★ 浅原 智彦 ★ 内山 迪子		
整形外科	★ 浅原 智彦 内山 迪子	★ 熊谷 謙治 依田 周 崎村 俊之 中島 武馬	★ 依田 周 中島 武馬	熊谷 謙治 ★ 崎村 俊之	浅原 智彦 ★ 内山 迪子		
リハビリテーション科	浅原 智彦	中島 武馬	依田 周	崎村 俊之	内山 迪子		
形成外科	藤岡 正樹 石山 智子		福井 季代子 石山 智子	藤岡 正樹	福井 季代子		
産婦人科	梅崎 靖 福田 雅史	安日 一郎 山下 洋	菅 幸恵 杉見 創 産褥1ヶ月検診(午後) ★ 松屋 福蔵	楠田 展子 福岡 操 産褥1ヶ月検診(午後) ★ 山崎 安人	安日 一郎 菅 幸恵		
泌尿器科	★ 大仁田 亨 ★ 松屋 福蔵				★ 大仁田 亨		
移植後フォローアップ外来	松屋 福蔵		松屋 福蔵				
耳鼻咽喉科	田中 藤信 奥 竜太 久永 将史	加瀬 敬一	田中 藤信 奥 竜太 久永 将史	奥 竜太	加瀬 敬一 田中 藤信		
眼科	稲本 美和子 諸岡 美智子 木下 明夫 高畑 太一 土井 祐介	稲本 美和子 諸岡 美智子 木下 明夫 高畑 太一 土井 祐介		稲本 美和子 諸岡 美智子 木下 明夫 高畑 太一 土井 祐介	稲本 美和子 木下 明夫 高畑 太一 土井 祐介		
放射線科		溝脇 貴志 放射線治療			溝脇 貴志 放射線治療		
麻酔科(漢方)(午前のみ)		谷口 美和(院内紹介のみ)					

※当院は地域医療支援病院です。初めて受診される場合は、原則、紹介状が必要です。『かかりつけ』等からの紹介状をお持ちいただきますようお願いいたします。紹介状なしで受診を希望される患者さんにつきましては、診察料とは別に保険外併用療養費として5,000円をご負担いただきます。特に、専門外来の受診には予約が必須です。お近くまたはかかりつけの医療機関にご相談いただき、『初診予約票』と『紹介状(診療情報提供書)』を用意してからご来院ください。

【予約受付時間】月～金 8:30～16:30(16:30以降については、翌日の取扱いとなります)

【休診日】土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター 地域医療連携室

問い合わせ・資料請求・予約; TEL.0120-731-062 FAX.0120-731-063

## 理念

高い水準の知識と技術を培い  
さわやかな笑顔と真心で  
患者さん一人一人の人格を尊重し  
高度医療の提供をめざす

## 長崎医療センターの使命

長崎医療センターは以下の活動を誠実に、地域拠点病院として住民の皆さんと医療機関からの信頼を得ることを使命としています。

- 安全で質の高い医療を提供する
- 絶対に断らない救急医療の最後の砦となる気概を持つ
- 地域の医療機関、行政と密接に連携する
- すべての医療人と学生に魅力的な教育研修を提供する
- 臨床研究を推進し、国際医療協力に貢献する